

ヘルスケア業界 ～国家戦略「健康中国」が追い風に、IT・サービス化が進む～

◆市場動向 ～国内市場は高成長を維持、医療支出総額は初の5兆元超え～

17年の業界規模（前年値修正済み）：

医薬・医療機器メーカー（一定規模以上）の売上高：2.98兆元（前年比12%増）、税前利益：3520億元（同17%増）、医療支出総額：5.16兆元（同11%増）

世界最大の人口を抱える中国のヘルスケア市場は拡大を続け、すでに中核の医薬品は世界2位の市場規模を持つ。政府は医療費抑制の政策を進めるものの、17年の医療支出総額は初めて5兆元を突破し、うち約3割を政府が負担した。高齢化・所得増加に加え、医療サービスの高度化、社会保障の整備、医療機関の増加などが医療費の伸びを支える。同時に輸出も回復し、中国の医薬・医療機器メーカーは全体として2桁の増収増益を継続。もっとも生産コスト高は続き、設備投資は3%減少した。

18年も1-5月で前年同期比14%の増収増益となり、通年でも10～15%増収の見通し。政府は今後も「健康中国」を国家戦略に掲げ、医療・医薬・福祉を含むヘルスケア産業の発展を奨励する構え。IT・サービス化や高齢化の進展、一人っ子政策の撤廃といった長期も加わり、業界の成長余地は大きい。

◆業界の特徴 ～内需型のディフェンシブセクター、政策要因が大きい～

生産・販売面：

ヘルスケア業界は概ね内需型のディフェンシブセクター。原薬・製薬、医療機器・設備の製造をはじめ、ネット販売も含む流通分野、病院・介護福祉施設の経営や各種サービスなどに分けられ、中核の製薬は大きく西洋薬、漢方薬に区分される。国有・民営・外資を含む多くの企業が厳しい競争を展開し、競争力の強化に向けて研究開発への投資を加速する。薬品は市販薬と処方薬に分けられ、流通大手が重要な役割を担う。近年は病院経営の企業化が進み、介護・福祉施設なども増加。がん、心疾患、脳血管疾患を含む生活習慣病が都市部住民の死因の8割近くを占め、市民の健康志向を背景に需要は底堅い。

国際面：

輸出入は黒字が続く。17年の輸出高は608億米ドルと急回復し、原薬が5割弱を占める。海外製品はハイエンドの医薬・医療機器市場で高いニーズを誇り、輸入は前年比16%増の559億米ドルと高い伸びを示した。すでに多くの外資が中国市場に合併などで進出するが、中国企業の対外投資は歴史が浅い。

政策面：

政府の規制は非常に厳しく、各企業の政策コストは大きい。定期的に見直される国家基本薬品品目に収載されれば保険の対象となり、製薬会社の収益拡大にプラスとなる。省・市による集中入札で薬価を抑え、17年からは「二票制」制度の全国適用により流通の簡素化を徹底。一方で政府は「健康中国」を新たな国家戦略に定め、医療制度改革に加えて医療・ヘルスケア産業への支援策を強化する構えだ。

◆主要企業、主な取扱銘柄～集約度が低い業界で上場大手は業績堅調～

ヘルスケア業界は国内外の多くの企業が激しく競争し、集約度は低い。この中で上場企業は大手に限られ、国有企業と一部の民営企業で構成される。薬価抑制・流通簡素化の政策と競争激化が逆風となるも、市場拡大と製品・サービスの充実化を支えに上場大手は概ね好業績が続いた。

製薬企業をみると、中央政府系の華潤医薬（03320）は市販薬の最大手であり、華潤三九医薬（000999）、華潤双鶴薬業（600062）、東阿阿膠（000423）を含む複数の上場企業を傘下に置く。東阿阿膠は伝統的漢方薬などが好調で、17.12期は2桁の増収増益になった。地方政府系をみると、漢方分野に強い広州白雲山医薬（00874）や雲南白薬（000538）、北京同仁堂（600085）、片仔癀薬業（600436）、医

療IT化に熱心な上海医薬（02607）などを含む総合医薬大手がシェア上位に入る。高いブランド力と積極的なM&A、事業多角化などを進め、そろって業績拡大となった。

同時に民営企業の健闘も目立つ。代表格はコングロマリット化が進む復星医薬（02196）で、ジェネリック医薬品の販売拡大や投資先企業からの利益貢献が好業績に繋がった。特定分野に強みを持つ民営企業も多く、康美薬業（600518）は漢方生薬分野で国内屈指の企業。中国生物製薬（01177）は肝炎治療薬、人福医薬（600079）は麻酔薬、石薬集団（01093）は成人病治療薬、恒瑞医薬（600276）は抗がん剤、健康元薬業（600380）傘下の麗珠医薬（01513）は漢方注射薬、華東医薬（000963）は腎臓・呼吸器疾患薬などが主力製品。製品構成の強化やM&Aなどにより、いずれも業績が拡大した。

流通分野では国務院系の国薬控股（01099）が最大手。国薬（600511）や国薬一致薬業（200028）などを傘下に置き、市場拡大を支えに増収益を確保した。同社は製薬事業の兄弟会社を持ち、上海現代製薬（600420）は西洋薬、中国中薬（00570）は漢方薬を主に担当する。また、民営の流通大手では、コマースに強い九州通医薬（600998）が取扱商品の拡大により好業績を記録。

医薬品以外でも民営大手は多く、医療機器大手の山東威高集団医用高分子製品（01066）と魚躍医療設備（002223）、美容医療機器で復星医薬の傘下にあるシスラムメディカル（01696）、さらに血液製剤最大手の萊士血液製品（002252）などが代表格だ。病院経営は国有企業に転換した華潤鳳凰医療（01515）の規模が大きく、主力事業は堅調だった。**業界は最新ITとの結び付きを強め、複数のヘルステック大手が誕生。**代表格は阿里健康（00241）や平安健康医療科技（01833）で、成長優先により最終赤字が続いた。不動産大手の参入も進み、恒大健康産業（00708）は介護福祉重視の住宅開発などを手がける。

主な取扱銘柄：

コード	社名	分類	通貨	売上高 増収率	純利益 増益率	時価総額	コメント
00241	阿里健康	香港その他	元	2,443 +414.2	▲107 赤字	74,521	中国ネット大手「アリババ・グループ」傘下の医療IT会社。医療・ヘルスケア関連の各種ITサービスを提供する。アリババの通販サイト「天猫」の健康食品事業や、医薬品の小売事業なども展開。AI技術を活用した医療システムなども開発する。成長戦略に伴うコスト増で17年も赤字を継続。
00570	中国中薬	レッドチップ	元	8,338 +27.6	1,170 +21.0	34,193	国務院系の医薬大手「中国医薬集団」の傘下企業。13年に老舗の「同濟堂中薬」を買収し、漢方薬市場に参入した。漢方薬顆粒や漢方薬・医薬製品・生薬メーカーを相次ぎ取得するなど、M&Aを成長戦略の中核に据える。漢方薬の産業チェーン全体への参入を目指し、攻勢をかける構え。
00708	恒大健康産業	香港その他	元	1,328 +522.1	308 +594.0	63,072	民営不動産大手の中国恒大（03333）を親会社を持つ新興の医療・介護・福祉サービス会社。医療ツーリズムも視野に入れ、最新設備を揃えた総合病院「ボアオ恒大国際医院」を海南省で経営。年配の富裕層向けに、「恒大・養生谷」ブランドの介護・福祉重視の高級住宅開発も展開する。
00874	広州白雲山医薬	H株	元	20,954 +4.6	2,062 +36.7	71,007	地元政府系の総合医薬大手「広薬集団」に属する上場旗艦企業。漢方薬・西洋薬・原薬の製薬部門に加え、「王老吉」のヘルスケア製品、医療・福祉などを手がける。アリババグループ傘下の阿里健康と提携し、医療IT分野を強化。事業会社の子会社化を経て、流通事業の強化にも乗り出す。
01066	山東威高集団医用高分子製品	H株	元	6,293 +12.0	1,730 +56.4	24,844	山東省を本拠とする民営の大手医療機器メーカー。使い捨ての点滴・輸血器具、整形器、人工骨などを病院などに販売。成長事業の人工透析器は日本のテルモと提携する。新規買収した米医療器具メーカー「アルゴン」は今後の海外事業を担うほか、同製品の中国での販売にも乗り出す。
01093	石薬集団	ハンセン	香港ドル	15,463 +25.0	2,771 +31.9	147,960	大手総合医薬品メーカー。脳卒中、高血圧を含む成人病治療薬に強みを持ち、認知症やがんの治療薬などもカバー。後発医薬品や原薬・医薬中間体の生産なども手がける。政策支援を後ろ盾に新薬開発やM&Aを通じて製品構成の強化に注力する。18年3月まで約200種の新薬開発を展開。
01099	国薬控股	H株	元	277,717 +7.5	5,283 +13.7	87,302	医薬品流通の国内最大手で、多くの病院を顧客に持つ。中国医薬集団の支配下にあり、民営の復星国際（00656）も大株主。傘下に置く国薬一致薬業（200028）や国薬（600511）、兄弟会社の上海現代製薬（600420）を含めた再編が17年末までに完了。今後の再編効果に期待。
01177	中国生物製薬	香港その他	元	14,819 +9.4	2,171 +32.6	152,159	漢方原料の各種医薬品を生産する民営企業。主力の肝炎治療薬は国内最大手。心臓・脳血管薬、抗がん剤、鎮痛剤なども手がける。研究開発力に定評があり、新型肝炎治療薬の海外ライセンスを米製薬大手に売却。同社開発の抗がん剤「Anlotinib」が将来的に業績の牽引役となる可能性も。

コード	社名	分類	通貨	売上高 増収率	純利益 増益率	時価総額	コメント
01515	華潤鳳凰 医療	レッド チップ	元	1,878 +22.5	421 黒転	12,448	病院経営の大手。以前は民営だったが、再編を経て国务院系「華潤集団」の傘下に入った。全国で100以上の医療機関を経営・管理。直接経営する北京市の健宮医院などに加え、投資・運営・移管契約に基づく病院も多い。法人向け医療サービスを手がける聯合医務（00722）に出資する。
01833	平安健康 医療科技	香港そ の他	元	1,868 +210.6	▲1,002 赤字	53,365	中国の総合保険大手「平安保険」（02318）でヘルスケア事業を担当。18年にスピンオフ上場した。スマホアプリ「平安好医生」を通じ、約2億人の登録者にオンラインの医療・健康サービスを展開。医師・専門家との相談や入院・診察予約、ヘルスケア製品のネット販売などが可能となる。
02196	復星医薬	H株	元	18,362 +26.6	3,124 +11.3	119,486	民営複合企業の復星国際に属する医薬事業会社。製薬はジェネリック薬品が中心。医薬品流通大手の国药控股に出資する。近年は病院経営、医療IT、海外事業などを強化。印注射剤大手「グラント・ファーマ」を買収。美容医療機器の世界大手「シスラムメディカル」（01696）を傘下に置く。
02607	上海医薬	H株	元	130,847 +8.3	3,521 +10.1	74,368	上海政府系の総合医薬大手。医薬品・ヘルスケア製品などの製造販売から卸小売までを全国規模でカバー。製薬は処方薬が中心で、日本のツムラ社と漢方薬で合併する。病院向けサービス会社の米カーディナルヘルス社の中国事業を買収し、輸入医薬品の販売規模でも中国最大級になった。
03320	華潤医薬	H株	香港 ドル	172,532 +10.1	3,483 +23.5	68,250	国务院系「華潤集団」に属する総合医薬品大手。製薬・流通で国内2位の規模を誇る。製薬は主に傘下上場企業が担い、華潤三九医薬（000999）、華潤双鶴製薬（600062）、阿膠（ロバの皮を煮詰めた漢方薬）の国内最大手である東阿阿膠（000423）が有名。大株主の富士フィルムと提携。
000538	雲南白薬	深セン A株	元	24,315 +8.5	3,145 +7.7	133,666	雲南省政府系の老舗漢方薬メーカー。主力製品の「雲南白薬」は止血・血流改善に効果がある。歯磨き粉などのヘルスケア製品も生産。また、医薬品・ヘルスケア製品の流通事業も手がける。国有企業改革に伴い民間の流通大手「新華都」などが親会社に出資した。今後の改革効果に期待。
000963	華東医薬	深セン A株	元	27,832 +9.7	1,780 +23.0	84,428	浙江省に本拠を置く民営の総合医薬品メーカー。腎臓・呼吸器疾患や糖尿病の治療薬などに強い。省内最大手クラスの医薬品流通も手がける。足元で多額の研究開発費を投じ、糖尿病治療薬を中心に製品構成の拡充を目指す。18年に多くの新薬が臨床段階に入り、今後の収益源となる可能性も。
002044	美年大健 康	深セン A株	元	6,233 +44.5	614 +35.9	84,657	江蘇省に本拠を置く民営の医療・健康コンサル大手。人間ドック、健康・体重管理などを含むオーダーメイド型のサービスを提供。全国の主要都市を網羅する店舗網構築をめざし、独シーメンスと共同で画像診断事業に進出するなど、サービス拡充に注力。年間顧客数は延べ2000万人を数える。
002223	魚躍医療 設備	深セン A株	元	3,542 +34.1	592 +18.4	23,446	国内有数の民営の医療機器会社。家庭・臨床・医療・手術用に至る様々な医療機器の生産・販売を手がける。製品のハイエンド化を目的に、医療機器開発の世界的拠点であるドイツに子会社を設立。病院向けの販売強化を目指し、除菌・消毒品メーカーを買収した。足元ではネット販売を強化。
002252	萊士血液 製品	深セン A株	元	1,928 ▲17.1	836 ▲48.2	売停	血液製剤の国内最大手。ベトナム系実業家が地元民営企業と中外合併で設立した。買収を通じた規模拡大に注力。中国名門の清華大学と研究開発の面で提携する。グループ内の資産再編に伴い、同社株は売停中。株式投資の失敗で17年に大幅減益に後退。18.1-3月期は赤字に転落した。
600079	人福医薬	上海A 株	元	15,446 +25.3	2,069 +148.5	21,475	湖北省に本拠を置く民営の製薬大手。主に麻酔薬、家族計画薬、血液製剤、ステロイド薬などを医療機関に販売。麻酔薬の国内シェアは高く、安定的な収益源に強み。17年に世界2位のシェアを持つ豪Ansell社の避妊具事業買収を通じ、海外展開を強化。新会社設立で更なる強化を目指す。
600085	北京同仁 堂	上海A 株	元	13,376 +10.6	1,017 +9.0	58,063	漢方薬の製造販売、流通などを手がける。「同仁堂」ブランドの歴史は古く、業界のリーダー的存在。傘下の北京同仁堂科技（01666）は錠剤・顆粒剤、北京同仁堂国薬（03613）は海外販売を担当。新工場の設立など、供給不足の解消に注力する。国有企業改革の進展も注目される。
600276	恒瑞医薬	上海A 株	元	13,836 +24.7	3,217 +24.2	334,778	民営の総合製薬大手。A株上場の製薬会社で最大級の時価総額を誇る。国内シェア上位に入る抗がん剤や麻酔薬、造影剤に加え、心血管薬、抗感染症薬などを幅広くカバー。研究開発力と海外実績で地場系屈指とされ、日米欧でもGMP認証を取得し、米国企業にライセンスを貸与する。
600380	健康元薬 業	上海A 株	元	10,779 +10.9	2,133 +372.5	22,386	広東省に本拠を置く民営の製薬大手。製品は製剤から原薬、診断薬、ヘルスケア製品などをカバー。主力は漢方を原料とする注射薬「参肽扶正注射液」など。中核子会社は麗珠医薬（01513）で、がんや生殖・消化器官の治療薬、抗精神病薬の分野に強く、バイオ薬への進出を加速する。

コード	社名	分類	通貨	売上高 増収率	純利益 増益率	時価総額	コメント
600436	片仔癀 薬業	上海A 株	元	3,714 +60.9	807 +50.5	81,035	国有系の漢方薬大手。主力の「片仔癀」は麝香（ジャコウ）などを原材料とする高級漢方薬品で、国内有数のブランド力を持ち、鎮痛・消炎・解毒・肝炎などに効く。高血圧用の錠剤や骨損傷用を含む医薬品に加え、サプリメント、化粧品、歯磨き粉を含む衛生日用品などを幅広く生産する。
600518	康美薬業	上海A 株	元	26,477 +22.3	4,101 +22.8	136,562	民営の漢方生薬大手。漢方原材料の栽培から生薬の生産・販売、流通、漢方薬材取引所の運営、病院経営などを幅広く手がける。オンライン分野での差別化を進め、国内初となる漢方医療の全過程を実現したプラットフォームを開業。ネット病院の全国展開を担い、医療分野を強化する。
600998	九州通医 薬	上海A 株	元	73,943 +20.1	1,446 +64.9	38,214	湖北省に本拠を置く医薬品流通の大手。民営企業に限れば業界トップにランクイン。国内各地で医薬品、医療機器、ヘルスケア製品、食品、化粧品などの卸売を展開。さらに小売分野にも進出し、一般消費財の販売も幅広く担う。Eコマースでは業界のバイオニア的存在でもある。

※売上高・純利益などはすべてブルームバーグ提供の数値であり、当社HPと異なる場合がある。阿里健康（00241）は18.3期、それ以外は17.12期、単位は百万。

※時価総額は18年6月29日の終値に基づきブルームバーグから算出、単位は百万HKドル。換算レートは1元＝1.2HKドル。

◆注目されるトピックス ～「健康中国」を含む政策動向の把握は重要～

国家戦略「健康中国」と医療費抑制の政策方針：

少子高齢化の進展、健康志向の高まりを受け、政府は「健康中国」を新5カ年計画（16～20年）で国家戦略に位置付けた。ヘルスケア産業の規模を13年時点の1.65兆元から20年に8兆元、30年には16兆元に引き上げる計画。低所得者層の社会保障整備に加え、中核の医療・医薬・医療機器、多くのサービス業の成長が予想される。一方で政府は医療費抑制も重視。流通簡素化と医薬品・診療料金の透明化、集中入札による薬価抑制、医薬分業などの徹底が図られ、経営体力・競争力が低い企業の淘汰も進む。

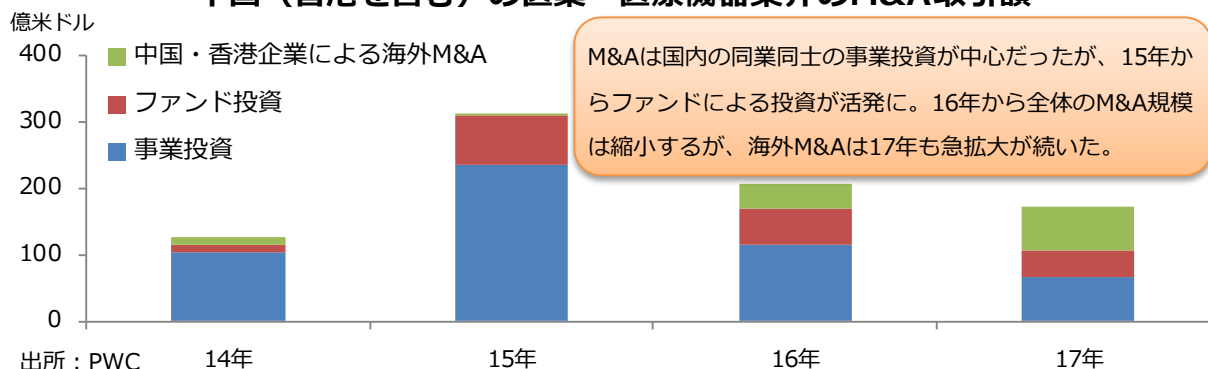
サービス業化が進展、業界地図が変わる可能性も：

業界の主役は徐々に製薬を中核とする製造業から、サービス業に移行へ。公立病院の企業化・民営化に加え、保育・介護、健康相談、スポーツジム、さらには医療ツーリズムなど、注目分野は多い。特に医療ITを含むヘルステックの需要は大きく、政府も18年4月に振興策を発表。従来のネット販売に加え、ネット病院、WEB問診など応用範囲は広い。老舗企業が医療IT分野を強化するなど、差別化に向け各社の積極姿勢が目立つ。これはITを含む各サービス大手のヘルスケア市場への参入も意味し、業界の勢力範囲は今後、一変する可能性もある。

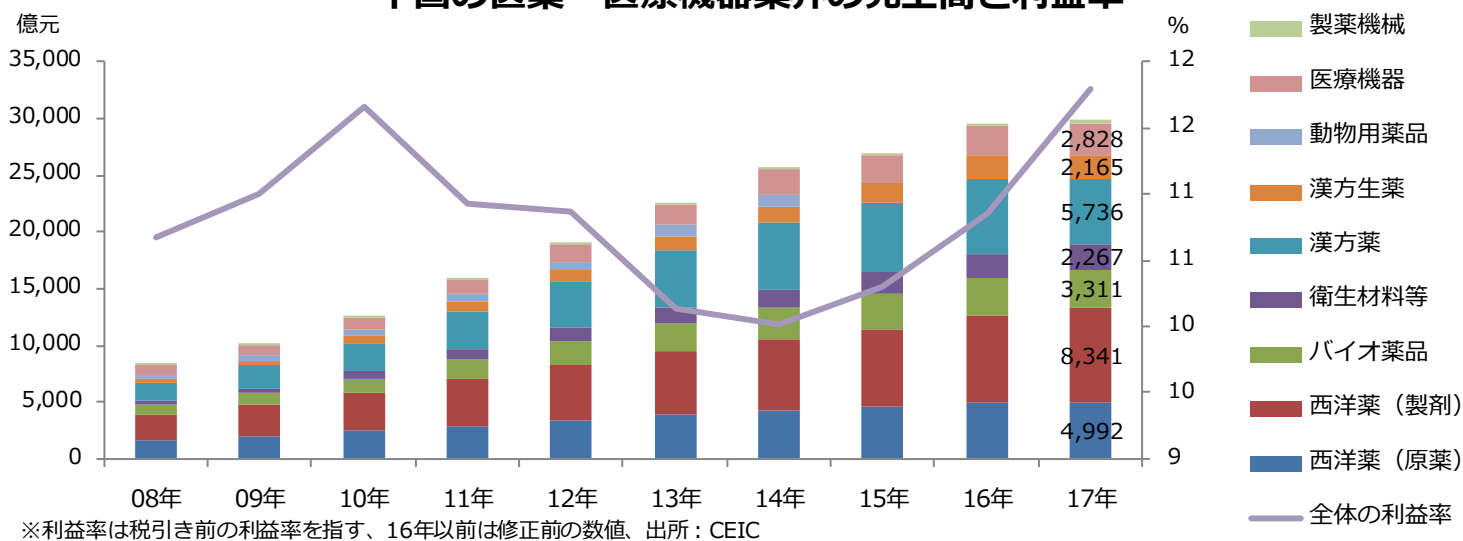
中国企業の海外M&Aが活発に：

国有企業改革、規模拡大、研究開発力の強化、海外展開などを目的に、業界大手はM&Aを活用。医薬・医療機器業界のM&Aは発表ベースで17年に280件、総額で171億米ドルだった。中国企業による海外M&Aの増加が目立ち、直近では復星医薬によるインド注射剤大手への買収実現が大きなニュースに。通商摩擦の懸念はあるが、中国企業の買収意欲は高く、M&Aの動向は注目を集めよう。資金調達を目的に、大手による増資や新興企業の本土・香港へのIPOなども増える見通し。（中国部 畦田）

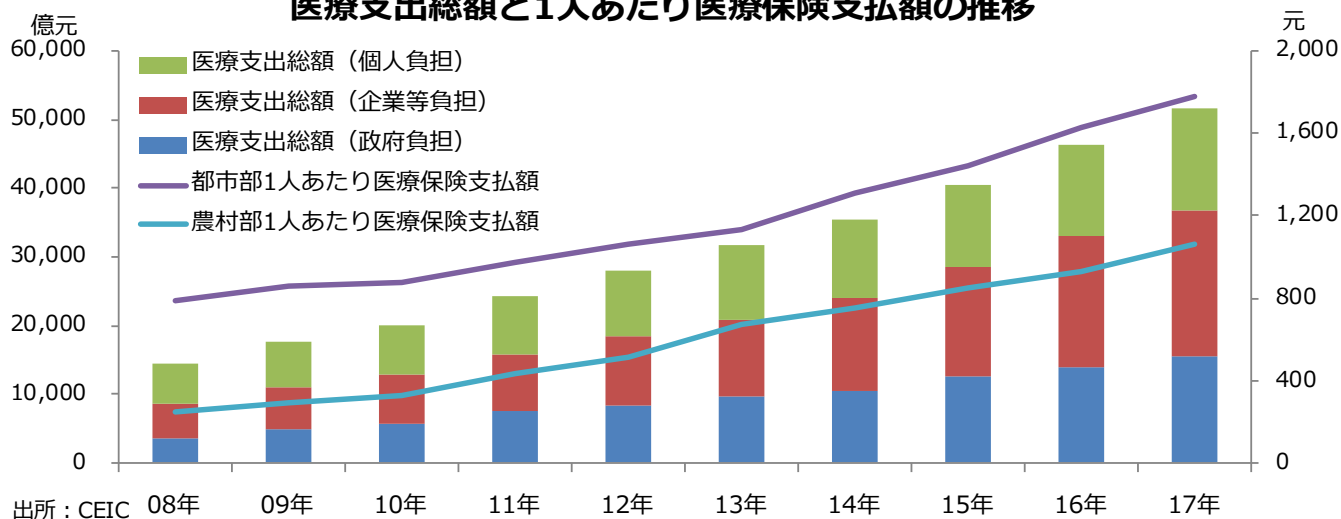
中国（香港を含む）の医薬・医療機器業界のM&A取引額



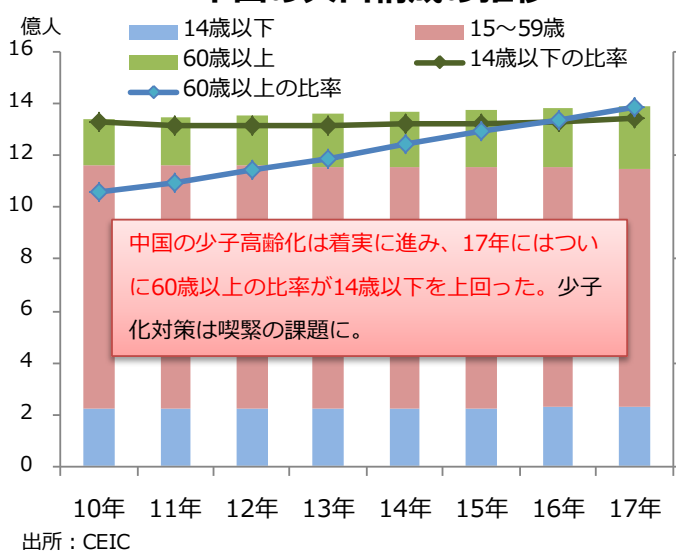
中国の医薬・医療機器業界の売上高と利益率



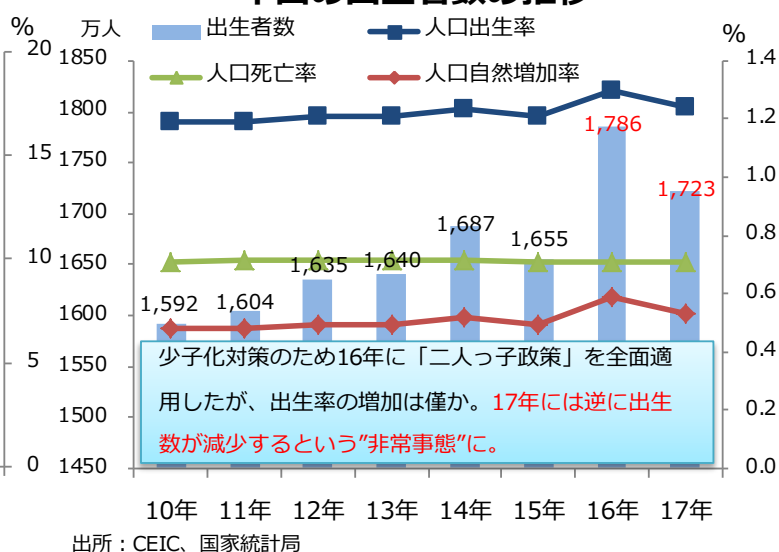
医療支出総額と1人あたり医療保険支払額の推移



中国の人口構成の推移



中国の出生者数の推移



「健康中国」の主な政策目標

分野	15年（実績）	20年（目標）	30年（目標）
平均寿命	76.34歳	77.3歳	79歳
総人口	13.75億人	14.2億人	14.5億人
出生率	1.5～1.6人	1.8人	1.8人
60歳以上の人口比率	16.10%	17.80%	-
重大慢性病患者の早期死亡率	19.1%（13年）	15年比1割減	同3割減
運動愛好者数	3.6億人	4.35億人	5.3億人
住民千人当たりの医者数	2.2人	2.5人	3人
医療費の個人負担割合	29.30%	28%	25%
健康産業の市場規模	1.65兆元（13年）	8兆元以上	16兆元以上

出所：政府サイト

国家戦略「健康中国」の関連セクター・銘柄を一部抜粋

セクター	コメント	関連銘柄
医薬	ヘルスケア産業の中核で、事業別に原薬・製薬・流通・貿易などに分けられる。種類別で処方薬・市販薬、新薬・ジェネリック薬、西洋薬・漢方薬などの区分もできる。薬価抑制はマイナス材料だが、新薬開発の環境整備や政策支援などはプラス材料だ。	石薬集団（01093）、国薬控股（01099）、復星医薬（02196）、華潤医薬（03320）、恒瑞医薬（600276）等
医療機器・機械	医療サービスの高度化に伴い、医療機械は成長市場に。地場系大手は海外M&Aなどを通じて競争力を強め、有力外資に挑む。	山東威高集団医用高分子製品（01066）、シスラムメディカル（01696）、魚躍医療設備（002223）等
病院医療	大半は公営病院だが、政府は民営化を推進。地域に根差した小規模の医療機関の増設と、高度医療を担う大病院の拡充の両方が重要に。政府は住民1000人あたりの医者数を15年の2.2人から20年に2.5人、30年に3人まで引き上げる計画。	復星医薬、恒大健康産業（00708）、華潤鳳凰医療（01515）、康華医療（03689）等
獣医学	現在の主力である畜産業に加え、今後はペット関連の需要増加が見込める。都市化と単身・核家族化が進む中でペットを飼う中間層は着実に増えよう。	天康生物（002100）、大北農科技（002385）、金宇生物（600201）、遼寧成大（600739）等
介護・福祉	17年に初めて60歳以上の人口比率が14歳以下を上回るなど、高齢化は着実に進行。介護・福祉の潜在需要は膨大で、新規参入が続こう。施設運営に加え、住宅・観光など他業種での展開も。	恒大健康産業、松齡護老集団（01989）、上海実業発展（600748）、通策医療（600763）等
健康サービス	市民の健康志向の高まりや少子高齢化を受け、病院以外での医療・健康サービスへの需要が拡大。慢性疾患の予防には日頃の健康管理が重要だからだ。	恒大健康産業、阿里健康（00241）、広州白雲山医薬（00874）、美年大健康（002044）等
健康食品・サプリ	食の安全や健康志向、中間層の拡大などを追い風に、健康食品・サプリは食品業界の注目分野。品質・ブランド力が重要で、高級品のニーズが多い。	長江生命科技（00775）、健合国際（01112）、衍生集団（06893）、東阿阿膠（000423）等
旅行・スポーツ	医療・健康関連のサービス業の中で、医療ツーリズムやスポーツジムはここ数年の注目分野。政府は運動愛好者を15年の3.6億人から、20年に4.4億、30年に5.3億人まで増やす目標を掲げる。	美年大健康、安踏体育用品（02020）、中体産業（600158）、峨眉山旅游（000888）等
ヘルステック	中国社会のIT化を受け、医療ITを含むヘルステックの成長性は高い。百度、アリババ、テンセントを含む多くのIT企業が同分野に進出し、今ではスマホで様々なサービスが受けられるように。	阿里健康、首都信息（01075）、平安健康医療科技（01833）、東華軟件（002065）等
医療保険	中国の医療保険市場は先進国に比べると普及率が依然として低く、生保各社は重点分野に定めて商品拡充・販売拡大に努める。	中国人民保険集団（01339）、平安保険（02318）、太平洋保険（02601）等

出所：各種資料

当社の概要

商号等 内藤証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号
 本店所在地 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋1丁目5番9号 主な事業 金融商品取引業
 資本金 30億248万円(平成30年3月末現在) 設立年月 昭和18年4月
 加入協会 日本証券業協会 (一社)第二種金融商品取引業協会
 指定紛争解決機関 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター
 連絡先 ご質問がございましたら、下記部支店までご連絡ください。

リスク等重要事項のご説明

リスクについて

〈株 式〉株価および為替相場(特に外国株式の場合)の変動等により損失が生じるおそれがあります。
 〈債 券〉債券は市場金利の動向や発行者の信用状況等によって価格が変動するため、損失を生じるおそれがあります。さらに外国債券は為替相場の変動などにより損失が生じる場合もあります。
 〈投資信託〉組み入れた株式や債券など、有価証券の価格変動および為替相場の動向(特に外国通貨建て有価証券等を投資対象としている場合)等により投資元本を割り込むおそれがあります。
 〈株価指数先物・同オプション〉対象とする株価指数の動きにより損失が生じるおそれがあります。加えて、建て玉代金に比べ少額の委託証拠金での取引が可能であり、株価指数の変動によっては損失額が委託証拠金を上回る(元本超過損)おそれがあります(オプション買方の場合には買付代金とコストの合計額に限定されます)。

手数料について

〈株 式〉①対面取引の場合、i) 国内株式は約定代金に対して最大1.15%(税抜き以下同じ、但し最低2,500円)。ii) 現地委託取引による外国株式は売買金額に対し最大0.80%(但し買付け時のみ最低500円)の国内手数料をいただきます。加えて、現地手数料として米国株式で外貨約定代金の最大0.50%、香港株式で同0.25%(最低50香港ドル)、上海・深セン株式で同0.50%必要となるほか、各証券市場によってSEC Fee、印紙税や取引所税等の費用が掛かる場合があります。また、為替に関しては内藤証券が決定したレートを用います。iii) 国内店頭(相対)取引による外国株式は当社提示の取引価格の中に手数料等(諸費用を含む)をあらかじめ加味しております。また為替は上記同様、当社為替レートを用います。②コールセンター取引の場合、i) 国内株式は約定代金に応じて最大31,000円(最低2,500円)。ただ、月間取引回数等による割引あり。ii) 外国株式は対面取引と同様です。③インターネット取引の場合、i) 国内株式は手数料プランが複数に分かれており、この欄に表示するのが難しいため、詳細は当社HP(<http://www.naito-sec.co.jp/>)にてご確認ください。ii) 現地委託取引による外国株式は売買金額に対して最大0.40%(但し買付け時のみ最低500円)の国内手数料をいただきます。また現地手数料並びに為替レート等は対面取引と同様です。なお、インターネット取引では米国株式及び国内店頭取引による外国株式の取り扱いを行っていません。
 〈債 券〉国内債券については売買委託手数料表をご確認ください。また、相対取引による外貨建て債券の売買に関しては当社が提示する価格の中に手数料等(諸費用を含む)をあらかじめ加味しております。円貨と外貨を交換する際には、外為市場等の動向をふまえて当社が決定した為替レートを用います。
 〈投資信託〉商品により異なりますので、詳細は「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。
 〈株価指数先物・同オプション〉i) 株価指数先物は約定代金に対して最大0.08%。ii) 株価指数オプションは約定代金の最大4.0%(但し最低2,500円)。

◆本資料は、公表されたデータ等信頼できると考えられる情報に基づいて内藤証券が作成し、また記載された見解等の内容は全て作成時点のもので時間の経過とともに不正確となる場合があります。過去から将来にわたって、その正確性・完全性を保証するものではありません。内容は今後予告なく変更することがあります。◆本資料に基づいた投資によって発生する損益は全てお客様に帰属します。内藤証券は、故意または重過失がない限り、責任を負いません。
 ◆本資料により提供される情報の著作権等の知的財産権は、引用部分を除き、全て内藤証券に帰属します。お客様は、事前に内藤証券の書面による同意なく、本資料の内容及び情報を、複製、譲渡、修正、変更または転送等の行為をすることができません。

本 社 大阪市中央区高麗橋 1-5-9 ☎06-6229-6511

東 日 本 地 区

東京第一営業部	☎03-3666-5541	金 沢 文 庫 支 店	☎045-780-5021
湘南サテライト	☎0466-55-3161	足 利 支 店	☎0284-22-1234
東京第二営業部	☎03-3666-7137	伊 勢 崎 支 店	☎0270-25-3780
神 田 支 店	☎03-6361-9191	伊勢崎駅前サテライト	☎0270-25-3780
三 鷹 支 店	☎0422-71-1251	焼 津 支 店	☎054-621-1311

西 日 本 地 区

本店営業部	☎06-6229-6904	和 歌 山 支 店	☎073-423-6211
住 道 支 店	☎072-889-5236	有 田 支 店	☎0737-52-7110
寝 屋 川 支 店	☎072-822-6333	田 辺 支 店	☎0739-22-4678
金 剛 支 店	☎072-365-1901	新 宮 支 店	☎0735-22-8151
樺 原 支 店	☎0744-28-4711	高 松 支 店	☎087-822-0105

インターネット

☎0120-7110-76
 succe-s@naito-sec.co.jp

コールセンター

☎0120-20-9680

